

# 「大震災後の多重債務者問題を考える」

## シンポジウムのご案内

～大震災後の新たな多重債務者問題の実態と

今後の効果的な行政・事業者・消費者の取組み～

千年に一度の大震災と原子力発電所事故による日本経済への打撃は、被災者のみならず国民に新たな生活困窮・多重債務問題を浮上させている。本年4月1日に公益法人となったNACSが東日本大震災復興支援活動として、その実態を少しでも早く把握し、問題解決への糸口を産業界・行政機関・有識者と共に考え、英知を集めた提言を行っていききたいと思います。

日時： 2011年5月28日（土） 午後2時 ～ 5時30分

会場： 大田区消費者生活センター （東京都大田区蒲田5-13-26の101）

参加費：無料 対象：一般 参加人数：180名（先着）

主催： 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会（NACS）

後援： 経済産業省、消費者庁（予定）、大田区（予定）

◎ 基調講演 . . . 弁護士 宇都宮 健児 氏

◎ パネルディスカッション

「大震災を被災して」 NACS 東北支部会員（予定）

「今、相談現場で起きていること」

NACS 理事 消費者相談・ADR 委員会委員長 唯根 妙子

「貸金業者の監督実務と日本貸金業協会相談・紛争解決センターについて」

金融庁監督局総務課金融会社室課長補佐 松井 正人 氏

「クレジット契約及び現金化等について」

経済産業省商務流通グループ取引信用課課長補佐 相川 祐太 氏

「事業者の変化：企業責任について」

オリックス(株) 法務・コンプライアンス部長 小池 正昭 氏

「再発防止に必要な手段とは」

(社) 日本臨床心理士会千葉県臨床心理士会

保健医療分科会担当幹事 石川 雅子 氏

司 会： 経済ジャーナリスト・アナウンサー

浜田 節子 氏

◎ 会場との質疑・意見交換

※ 参加ご希望者は、別紙記載案内をご覧の上、FAXでお申し込みください。

# FAX 送信 (03-3718-4015)

◆日時：2011年5月28日(土) 14:00～17:30 (受付 13:30～)

◆場所：大田区消費者生活センター大集会室 (東京都大田区蒲田 5-13-26-101) ※下記HP参照

◆参加費：無料

◆対象：一般消費者、学生、中小企業経営者、個人事業者、相談員、FP、金融機関従事者等どなたでも

◆主催(問合せ並びに申込先)：公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(通称 NACS)  
〒152-0031 東京都目黒区中根 2-13-18 第百生命都立大学駅前ビル

担当：NACS 消費者相談室 大島・藤本まで、メールか FAX でお願ひします。

E-mail:nacs-wet@s7.dion.ne.jp FAX:03-3718-4015

※ 会場の都合により 180 名定員で、先着順に受け付けます。

※ 申込多数で参加戴けない場合のみ、連絡をいたします。

※ 相談室執務が月・水・金のため、問合せに対するご回答に数日猶予を戴く事があります。

☆ FAX で申し込む場合に下記用紙をご利用ください。メールの場合は下記項目を記載してお申し込みください。

参加者名(ふりがな)：

(法人の場合は法人名)：

連絡先(住所)

(電話番号・FAX)

☆ ご提供いただいた個人情報については、この会議の参加確認、ご連絡以外の目的には利用いたしません。  
またこれらの情報は NACS の規程に則って適切に管理いたします。

<会場> 大田区消費者生活センター

[http://www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/hall/seikatsu\\_c/index.html](http://www.city.ota.tokyo.jp/shisetsu/hall/seikatsu_c/index.html)

最寄駅：JR 蒲田駅東口から徒歩 5 分(大田区役所前から川崎方向に約 300 メートル)

